

家紋花輪違

源姓

本ノ字

岡本

高百俵

佐々木の支流はしめ河内国交野郡岡本に住しよつて氏とす其後将監清高に至尾本と称し豊臣家に仕大坂落城の後山城国宇治郡山科にうつりその名を氏とし其子清左衛門某京極若狭守忠高か扶助を請その子加兵衛某に及ひまた岡本に復す加兵衛某男

清澄

岡本莊太夫兵衛

寛文三年十一月廿八日土屋但馬守教直家臣ト成

清航ノリ

清澄次男

岡本唯右衛門

庄太夫

松平加賀守忠周家臣伊

政苗

岡本莊藏

多門

安永五申年十二月廿二日浪人より御先手与力にめし出され○同七戌年四月六日支配勘定○同九高百俵子年十二月十二日関東川々御用同月十八日御暇○天明元廿枚丑年四月廿四日褒銀○同二寅年三月九日榊原式部太輔領分越後国鉢崎山崩ニ付御関所引直し往還道付替の時立合見分同年四月十日御暇○寛政二○天明三年七月初日長崎御用○同六年二月廿五日同上戌年二月十四日諸色直段取扱御用町法改正町之積金仰出され向柳原社倉并会所御取立町方同四年六月廿六日褒金十兩別段銀五枚困穀窮民救方掛○同四子年十一月十六日御勘定○同五丑年十二月十三日病死六十二歳四谷安楽寺葬

以下略